

都をどり

汎春秋座



画：堀 泰明

都をどり

汎春秋座

明治5年(1872)、京都博覧会の「附博覧」として芸舞妓の茶と歌舞を公開することとなり杉浦治郎右衛門(一力亭九代目主人)、三世井上八千代らが、伊勢古市の亀の子踊にヒントを得て第1回「都をどり」を開催したのが始まりで今日まで140年以上にわたり連綿と続いています。右手に地方(しかた)連中、左手にはお囃子連中が奏でる演奏に合わせ花道から「ヨーイヤアーサー」のかけ声とともに、次々と現れる芸舞妓たち。第一景「置歌(おきうた)」から始まり、春、夏、秋、冬、そして春へと四季の移ろいを舞台上で表現する構成となっており、京舞井上流の伝統に裏付けされた確かな伎芸が生み出す華麗な舞をお楽しみください。



平成30年4月1日(日)~24日(火)

主催：京都市観光協会・祇園甲部歌舞会 共催：京都造形芸術大学



都をどり 春秋座

公演について

期間 平成30年4月1日(日)~24日(火) ※休演日なし

会場 京都芸術劇場 春秋座

京都市左京区北白川瓜生山2-116京都造形芸術大学内

公演 1日3回公演 (公演時間約50分)

1回目 12:30 2回目 14:20 3回目 16:10

※2017年とは時間が変更となっております。

ご観覧の料金

● 茶券付特等観覧券 4,600円



芸妓さんによる立礼式(りゅうれいしき)のお点前をご覧いただきながら、お抹茶とお菓子をお召し上がりいただけます。都をどり特製団子皿はお土産にお持ち帰りいただけます。お抹茶の準備がありますので、開演の15分前には必ずお茶席会場にお越しください。終演後はお茶席はご利用いただけません。



1回目 11:20~12:20

2回目 13:10~14:10

3回目 15:00~16:00

● 巻等観覧券(2階補助席) 3,500円

その他の料金

● イヤホンガイド レンタル料 500円 (保証金1,000円)
(日本語版・英語版) ※保証金は本体ご返却時にお返しします。

● 都をどりプログラム(写真帳) 700円

f Facebookで情報更新中!

<https://www.facebook.com/miyako.odori>



演目について

つづきてのらくほくめいせきめぐり

『続洛北名跡巡』

第一景	おき 置	うた 歌 (銀 袖)	長唄
第二景	けん こう あん まどのあおほ 源光庵窓青葉	(源 光 庵)	別踊・長唄
第三景	うら ぼんえ ご さん おく び 孟蘭盆会五山送り火	(五 山 送 り 火)	別踊・長唄
第四景	し せん どう も み じ の お り え だ 詩仙堂紅葉折枝	(詩 仙 堂)	長唄
第五景	ゆき の じょう おう ひ た ゐ き な る こ い 雪女王一途恋	(雪の野原・水の宮殿)	別踊・浄瑠璃
第六景	てつ がく みち さくら たより 哲学の道桜便	(哲 学 の 道)	長唄

「都をどり」の開催会場である祇園甲部歌舞練場は現在一時休館とさせていただきます。平成13年8月に「有形文化財」に登録され、後世に保存すべき貴重な文化財であることも踏まえ、耐震対策に着手致します。一日も早く祇園甲部歌舞練場でご観覧いただけるよう努めてまいりますのでご支援・ご協力の程、宜しく願い申し上げます。



祇園甲部歌舞会